

昭和60年度（昭和60年3月1日から昭和61年2月28日まで）事業計画

I 会 議

会 議 名	開 催 回 数	開 催 月	議 案
通 常 総 会	1	3 月	59年度事業報告，収支決算，財産目録 60年度事業計画，収支予算，理事，監事，評議員選挙
評 議 員 会	1	61年 2 月	60年度事業報告，収支決算，財産目録 61年度事業計画，収支予算，次期役員候補推薦
理 事 会	6	4 月，6 月，9 月，10 月，12 月， 61年 2 月	月次事業報告，会計報告，緊急事業計画委員会 設置，評議員会，総会提出議案の決定，表彰者 決定等
編 集 委 員 会 運 営 委 員 会	6	4 月，7 月，9 月，11 月， 61年 1 月，2 月（東京）	会誌，講演大会，図書刊行等の方針決定， 依論文賞，ヘンダーソン賞の選考
和文会誌分科会	12	毎月 1 回（東京）	「鉄と鋼」の編集
欧文会誌分科会	12	毎月 1 回（東京）	「Transactions ISIJ」の編集
講演大会分科会	6	隔月（東京）	講演大会，討論会の企画，実施
出版分科会	4	（東京）	図書類の編集企画，刊行
企 画 委 員 会	8	5 月，6 月，7 月，9 月，11 月， 12 月，61年 1 月，2 月（東京）	事業計画，定款諸規程の変更立案，予算決算等 国際技術交流
会 計 分 科 会	7	3 月，5 月，7 月，9 月，12 月， 61年 1 月，2 月（東京）	予算決算，補助金の処置
表彰奨励選考 分科会	3	4 月，8 月，11 月	他の学協会からの依頼による表彰奨励の推薦
研 究 委 員 会	6	隔 月	本会の研究業務の計画立案遂行と講習会講演会 の企画等
技術講座 小委員会	5	4 月，6 月，9 月，11 月， 61年 2 月（東京）	西山記念技術講座，白石記念講座の企画，実施
鉄鋼工学セミナ ー委員会	6	5 月，6 月，9 月，12 月， 61年 1 月，2 月（東京）	第11回セミナーの実施，第12回セミナーの企画
特別資金運営委員会	1	61年 1 月	特別資金の運営ならびに支出審議
一般表彰選考委員会	2	7 月，61年 1 月	協会的一般表彰各賞候補選定
次期役員候補 選考委員会	1	61年 1 月	〃 役員候補選定

II 刊 行

会誌「鉄と鋼」
欧文会誌「Trans. I.S.I.J.」
鉄鋼技術総覧
特別報告書

16冊 毎月
12冊 毎月
12冊 毎月
随時

III 分 譲

日本鉄鋼標準試料
会誌（和文・欧文）
特別報告書その他刊行物
会員名簿，会員章
「鉄鋼技術総覧」

常時
常時
常時
常時
常時

IV 金属技術情報サービス

図書室公開	常時
文献検索オンライン端末機の利用	常時
数値データ集整備公開	常時

V 講演会・講習会・国際交流

名 称	開 催 数	開催日(場所) 予定	テ ー マ・そ の 他
第109回講演大会	1	4月1日, 2日, 3日 (東京工業大学)	
第110回講演大会	1	10月4日, 5日, 6日 (新潟大学)	
西山記念技術講座 第104回		5月8日, 9日(東京)	「マイクロアロイング技術の最近の動向」
第105回		5月22日, 23日(大阪)	”
第106回		9月	「表面処理鋼板の現状と今後の動向」
第107回		9月	”
第108回		11月	「金属系複合材料の現状と将来」
第109回		11月	”
第110回		61年2月	「鋼の凝固と casting プロセスの最近の進歩」
第111回		61年2月	”
白石記念講座 第7回		6月11日, 12日(東京)	「新しいセンシング技術」
第8回		6月18日, 19日(大阪)	”
第11回鉄鋼工学 セミナー		7月29日, 30日, 31日, 8月1日, 2日, 3日(蔵王)	
日本・中国鉄鋼学術 会議 第3回会議	1	4月26日~29日(中国)	製鉄, 製鋼, オートメーション
第10回日・ソ製鋼物 理化学合同シンポジ ウム	1	6月18日, 19日(東京)	製鋼物理化学全般
第3回鉄鋼圧延 国際会議 —鋼管—	1	9月2日~5日(東京)	鋼管

VI 委員会

委員会・部会名	開 催 数	開催月(場所) 予定	研究テーマ・その他
共同研究会			
運営委員会	2	6月, 12月(東京)	共同研究会の運営方針の決定
総務幹事会	2	5月, 11月(東京)	共同研究会の運営に関する情報交換
製鉄部会	2	5月(新日鉄・大分) 10月(住金・小倉)	研究発表, 新設, 改修報告 研究発表, 新設, 改修報告
コークス部会	2	6月(神鋼) 秋(新日鉄)	研究発表並びに操業データの交換 研究発表並びに操業データの交換
製鋼部会	3	3月(鋼管・福山) 7月(新日鉄・名古屋) 11月(神鋼・神戸)	重点テーマ「予備処理溶鉄の転炉吹錬技術」 未定 未定

委員会・部会名	開催回数	開催月(場所) 予定	研究テーマ・その他
電気炉部会	2	5月(中山製鋼) 10月(未定)	未定 未定
特殊鋼部会	3	3月(住金・鹿島) 6月(川鉄・水島) 9月(神鋼・高砂)	①ステンレス鋳片の品質向上対策 ②不純物成分の低減技術とその効果 未定 未定
圧延理論部会	3	6月(鋼鉄・下松) 10月(鋼管・福山) 61年2月(富士電機)	その都度圧延理論に関する研究発表 " "
鋼板部会 分塊分科会	2	5月(山特・本社) 11月(新日鉄・八幡)	「C C - B D材の表面疵改善対策」 条) ロール原単位 板) 要員合理化
厚板分科会	2	5月(神鋼・加古川) 11月(住金・和歌山)	「品質維持向上のための設備管理」 未定
ホットストリップ分科会	2	春(住金・鹿島) 秋(新日鉄・室蘭)	「歩留向上対策」 未定
コールドストリップ分科会	2	春(新日鉄・名古屋) 秋(川鉄・千葉)	「省エネルギーについて」 未定
条鋼部会 大形分科会	2	6月(川鉄・水島) 秋(トピー・豊橋)	「小ロット多品種注文への対応策」 未定
中小形分科会	2	5月(東海、若松) 秋(東伸・姫路, 合鉄・姫路)	Aグループ:「ロール管理」 Bグループ:「生産能率の向上について」 未定
線材分科会	2	5月(住電・伊丹) 秋(川鉄・水島)	「製造原価の解析とその低減対策」 未定
鋼管部会	2	6月(川鉄・知多, 新日鉄・名古屋) 12月(新日鉄・君津, 吾嬬)	鋼管用素材について 未定
継目無鋼管分科会	2	3月(東京)	熱間押出関係共通テーマ 「押出工具の形状と材質について」 「熱間押出工場の省エネルギーについて」 マンネスマン関係共通テーマ 「切断について」 「省エネルギーについて」 未定
溶接鋼管分科会	2	9月(大阪) 3月(大阪)	電弧溶接関係共通テーマ 「スパイラル鋼管の生産性向上について」 「外面塗覆装について」 電縫・鍛接管関係共通テーマ 「電縫管の製造における現品識別管理について」 「鍛接管メッキ操業条件について」 未定
熱経済技術部会	2	9月(東京) 5・6月(日新・呉) 秋(鋼管・京浜)	「製造工程間における温度降下防止と対策実施項目」 未定
計測部会	3	3月(東洋鋼鉄・下松) 6月(新日鉄・堺) 11月(川鉄・知多)	研究発表 " "
品質管理部会	2	6月(鋼管・京浜) 秋(中山)	研究発表 "
機械試験 小委員会	2	5月(住金・鹿島) 10月(未定)	研究発表 "

委員会・部会名	開催回数	開催月(場所)予定	研究テーマ・その他
非破壊検査 小委員会	3	3月(大同・知多) 夏(協会) 秋(日新・呉)	研究発表 " "
運輸部会	1	秋(住金)	未定
調査部会	随時	東京	未定
鉄鋼分析部会			
化学分析分科会	4	春(東京) 秋(鋼管・福山)他未定	未定 "
ほたる石分析 小委員会	4	春(東京) 秋(鋼管・福山)他未定	未定 "
機器分析分科会	4	春(東京) 秋(鋼管・福山)他未定	未定 "
鋼中非金属介在 物分析小委員会	4	春(東京) 秋(鋼管・福山)他未定	未定 "
表面分析 小委員会	4	春(東京) 秋(鋼管・福山)他未定	未定 "
設備技術部会			
銑鋼設備分科会	2	6月(中山) 秋(住金)	春:製鋼設備 秋:製銑設備
圧延設備分科会	2	春(日造・桜島) 秋(神鋼・加古川)	「プロセスラインにおける蛇行制御」 「ゴムロール、ブラシロールの整備及長寿命化」 「潤滑管理」他
電気設備分科会	2	春(鋼管・京浜) 秋(川鉄)	「高調波対策」 秋:未定
耐火物部会	2	6月(中山・本社) 秋(大同・知多)	主に製銑関係および圧延関係窯炉について 主に製鋼関係について
原子力部会	1	未定	未定
技術小委員会		未定	未定
特許小委員会		未定	未定
NIS材料検討 小委員会	3	未定	NIS材料調査に関する検討
特定基礎研究会			
運営委員会	2	6月, 12月	企画, 運営, 調査
石炭のコークス 化特性部会	1	11月	シンポジウム
鋼材の表面物性 に関する基礎研 究部会	3	未定	鋼材表面の分析技術, 物性・応用技術
鉄鋼基礎共同研究会		随時	
運営委員会	2	6月, 12月	企画, 運営, 調整
融体精錬 反応部会	1	6月	6月にシンポジウム開催 「融体精錬反応の物理化学とプロセス工学 (仮題)」
鉄鋼の環境 強度部会	4	5月(協会) 8月(東京) 10月(東京) 2月(鋼管・津)	海洋環境下の鉄鋼の環境強度に関する共通試験 の実施と資料の調査収集
高純度鋼部会	4	未定	高純度鋼の諸特性の解明
鉄鋼の急速凝固 部会	4	3月, 5月, 7月, 11月	鉄鋼の急速凝固現象, 凝固組織に関する冶金学 的および伝熱工学的基礎研究

委員会・部会名	開催回数	開催月（場所）予定	研究テーマ・その他
標準化委員会	2	5月, 12月	各分科会報告の審議とJIS原案および協会規格の承認
幹事会	6	3月, 5月, 7月, 10月, 11月, 61年2月	JISおよび協会規格作成方針の検討および標準化の諸問題検討
普通鋼分科会	8	3月, 4月, 6月, 7月, 9月, 10月, 12月, 61年1月	JISの見直しその他普通鋼に関する問題点の審議
特殊鋼分科会	6	3月, 4月, 6月, 7月, 10月, 61年2月	JISの見直し, 特殊鋼規格全般の問題
線材分科会	4	5月, 8月, 11月, 61年2月	JISの見直し
鋼管分科会	4	5月, 8月, 10月, 61年1月	JISの見直し, 鋼管規格全般の問題
機械試験方法分科会及び幹事会	8	3月, 4月, 6月, 7月, 8月, 10月, 11月, 12月	機械試験全般の問題およびISOの検討, 基準片の製作及び検討
鋼質判定試験分科会	4	4月, 6月, 10月, 61年2月	鋼質判定に関する試験方法のJISの見直し
日ソ油井用鋼管分科会	1	8月	油井用鋼管規格, 技術資料の収集, および検討, コメントの作成
衝撃基準片分科会	2	6月, 12月	衝撃基準片の製造に関する事項
ISO鉄鋼部会	2	3月, 11月	SC各分科会報告の審議, 日本代表者の派遣決定
SC 1分科会	4	1/4~4/4	ISO/TC17およびISO/TC11/SC1, ISO/TC5, ISO/TC67, ISO/TC164に関する提案事項の検討, 日本コメントの作成, 共同実験等
SC 2 "	4	1/4~4/4	
SC 3 "	3	1/4, 3/4	
SC 4 "	4	1/4~4/4	
SC 5 "	2	1/4, 3/4	
SC 7 "	2	1/4, 2/4	
SC 8 "	3	2/4~4/4	
SC 9 "	2	1/4, 3/4	
SC 10 "	2	1/4, 3/4	
SC 12 "	3	1/4~3/4	
SC 15 "	1	1/4,	
SC 16 "	1	1/4,	
SC 17 "	3	1/4~3/4	
SC 18 "	2	2/4, 4/4	
SC 19 "	3	1/4~3/4	
TC 67 "	1	2/4,	
TC 5 "	4	1/4~4/4	
TC 164 "	4	1/4~4/4	
EC "	4	1/4~4/4	
ISO/TC17/SC17東京会議		4月8日~12日	線材及び線製品に関するISO会議
ISO/TC17/SC9/WG2, 4東京会議		7月第1週又は第2週	ぶりきに関するISO会議
データシート部会	4	4月, 8月, 11月, 61年2月	分科会報告の検討, テーマの選定, 企画
構造用鋼の機械的性質分科会	3	4月, 10月, 61年2月	手持データの収集, 共同実験の立案
高温引張データシート分科会	4	5月, 7月, 10月, 61年1月	高温引張特性データの収集, 解析
破壊靱性データシート分科会	2	6月, 12月	破壊靱性データの収集
高温強度研究委員会	1	5月(東京, 以下同じ)	事業計画, その他総括審議, 分科会活動報告
高温熱疲労試験分科会	3	未定	共同研究実験報告書作成

委員会・部会名	開催回数	開催月(予定) 場所	研究テーマ・その他
金材技研クリープデータシート連絡分科会	1	未定	未定
クリープ強度外挿法分科会	2	未定	未定
切欠き効果試験分科会	3	未定	未定
高温脆化分科会	2	未定	共通試験の報告書作成
材料研究委員会	4	3月, 6月, 9月, 12月	研究テーマ「鋼材の破壊靱性に対する高純化の影響」
国際鉄鋼技術委員会		随時	高炉の操業実績調査の取りまとめ, I I S I 技術委員会および国際会議への協力 第18回 I I S I 技術委員会, 日本開催の企画
鉄鋼科学技術史委員会		随時	鉄鋼に関する科学, 技術の歴史の解明
熱延プロセス冶金研究委員会	4	5月, 9月, 11月, 61年2月	熱間加工時及びその後におこる金属学的現象の研究
第1回シンポジウム		5月29日(新丸ビル大会議室)	熱間加工のシミュレーションとオーステナイトの変態
低炭素鋼板研究委員会	3	未定	薄板用低炭素鋼を対象とし, 低濃度多元系としての physical metallurgy の確立
鉄鋼標準試料委員会	2	6月, 61年1月	標準試料に関する事項
常任委員会	6	4月, 6月, 8月, 10月, 12月, 61年2月	製造計画, 標準値の決定
教育委員会		随時	
鉄鋼技術情報センター運営委員会	2	6月, 61年1月	センター情報管理活動
編集委員会	6	3月, 5月, 7月, 9月, 11月, 61年1月	技術情報誌編集
図書資料委員会	4	3月, 6月, 9月, 12月	センター図書資料
情報検索委員会	6	3月, 5月, 7月, 9月, 11月, 61年1月	情報検索
共同研究会	1	秋	未定

VII 特別の会計による事業

1. 特別資金による事業

(1) 表彰

俵賞, 製鉄功労賞, 野呂賞 1回 3月
渡辺義介賞, 西山賞, 服部賞, 香村賞, 渡辺三郎賞,
俵論文賞, 渡辺義介記念賞, 西山記念賞の授与

1回 3月

浅田賞, ヘンダーソン賞, 三島賞, 林賞, 山岡賞の授与

1回 10月

- (2) 湯川記念講演会の開催 随時
(3) 石原, 浅田研究助成金の交付 12月
(4) 日向方斉学術振興交付金 随時
(5) 浅田記念文庫の寄贈 随時

2. ISO幹事国業務

(1) 会議

会議名	開催回数	開催月(場所)予定	内容
ISO運営委員会	3	9月, 12月, 61年2月(東京)	ISO事務局運営に関する基本事項の審議
TC17諮問部会	4	5月, 7月, 9月, 11月(東京)	TC17事務局からの諮問事項の審議
TC17諮問部会 ワーキング グループ会議	6	随時 (東京)	TC17総会对策専門分野の審議
SC1諮問部会	6	3月, 5月, 7月, 9月, 11月, 61年1月(東京)	TC17/SC1事務局からの諮問事項の審議
ISO/TC17 関係会議			
総会		10月(デュッセルドルフ)	TC17基本事項
SC4		秋(未定)	熱処理鋼・合金鋼等
SC7		4月(パリ)	機械試験・分析以外の試験法
SC9		秋(未定)	ブリキとブリキ原板
SC10		春(デュッセルドルフ)	圧力用鋼
SC11		6月(ロンドン)	鋳鋼
SC12		8月(北京)	熱・冷延ストリップ連続亜鉛めっき鋼板)
SC17		4月(東京)	溶接用・特殊用線材
SC19		6月(ミラノ)	圧力用管用鋼
その他会議			
IEC/TC68-		5月(パリ)	磁性合金・磁性鋼
ISO/TC17/ WG16合同会議			

(2) ISO/TC17幹事国業務

① ISO規格案件の処理

昭和60年度当初, ISO/TC17で審議中の案件は124件で, 年度内に13件のISO規格の成立が見込まれる。TC幹事国として, ISO規格作成の過程で, 下記事項について業務を分担する。

- ① 規格案件のメンバー国投票時におけるコメントの処理, テキストの修正
- ② 新規案件の採択, 割当の提案
- ③ 国際規格案件(DIS)の普通投票の実施・採否判断, テキスト修正
- ④ 中央事務局からの疑問等に答え, 規格案件(DIS)のテキスト等を必要により改訂
- ⑤ 中央事務局からの要請による業務
- ⑥ 定期的に実施を義務づけられている業務
 - すなわち, (a)ISO規格の定期的改訂要否検討(5年見直し)
 - (b)「MEMENTO」改訂
 - (c)会議スケジュール
 - (d)年次報告書
- ⑦ その他中央事務局からの要請による業務
- ⑧ TC17総会の開催

昭和60年10月7日, または14日から1週間, 西ドイツデュッセルドルフでの開催が決定している。

(3) TC17/SC1幹事国業務

60年度は, 会議開催はなく, 61年度の5月に, 第11

11回会議がローマで, 開催される予定になっている。

日本が幹事国を引受けて以来5年を経過し, SC1活動も軌道にのり, 安定してきたが, このSC1活動を, いかにしてより活発化し, 盛り上げていき, ローマ会議に結びつけていくかが, 60年度の最大の課題となる。具体的には下記項目を重点的に推進していく予定である。

① 国際規格案文の作成

第10回シカゴ会議(59年5月)で, 最終段階に達した残りの2件の規格案件(クロム電位差および目視滴定法, ニッケル重量・容量法)を, SC1内郵便投票にかけ, 得られたコメントを処理し, 国際規格案段階にすすめる。

また, 来年度5年見直しの時期にあたるISO規格1件, ISO/テクニカルレポート4件については, 投票結果に応じた適切な処置をとっていく予定である。東京会議にて決議された「SC1活動指針」についても, きめの細かい見直しを実施し, 規格作成のスピードアップをはかっていくことにより, TC17/EC会議の決議事項にも応えていくことを考えている。

② ワーキンググループ活動促進化支援

現在, 継続中の5ワーキンググループの活動促進化をはかり, 次回会議には最終規格案の作成にもっていくように, また新設の5ワーキンググループの活動についても次回会議にて, ワーキンググループレポートが提出でき, これに基づく十分な討議ができる状態

迄もっていく必要がある。

このため、各ワーキンググループ主催者が、かかえている問題点を解決するのに必要な助力をおこなっていく。また必要とあれば、ワーキンググループ主催者を訪問する。

③ 海外出張

海外出張については、ローマ会議開催準備、ワーキンググループ活動支援を目的に計3回（米国、オーストラリア、ヨーロッパ）を予定している。

3. 委員会

委員会・部会名	開催回数	開催月（場所）予定	研究テーマ・その他
高級ラインパイプ 共同研究委員会	随時	未定	高級ラインパイプに関する諸研究
業務分科会	随時	未定	高級ラインパイプの研究遂行に関する諸業務調整、企画
バーストテスト 技術分科会	随時	未定	長尺大径ラインパイプの破壊機構の解明、靱性評価法の確立
水素誘起割れ テスト技術分科会	随時	未定	サワーガスラインパイプの水素誘起割れ評価法の確立
日本圧力容器 研究会議			
運営委員会	3	3月、6月、12月	企画、運営、調整
材料部会	3	3月、6月、12月	3専門委員会についての企画、運営、調整
圧力容器用鋼材 専門委員会	3	3月、6月、11月	溶接継手部の靱性値のばらつきに関する冶金的解明（共同研究）
水素脆化 専門委員会	3	4月、7月、12月	水素侵食限界（共同研究） 水素脆化（共同研究）
非破壊試験 専門委員会	3	4月、7月、12月	Round Robin Test 実施と解析
材料・計測 評価委員会	1	3月	構造材料の寿命・余寿命予測のための計測評価手法の確立に関する調査